平成 25 年 6 月 24 日

各　　位

会社名	タカラバイオ株式会社 （コード番号 4974　東証マザーズ）
本社所在地	滋賀県大津市瀬田三丁目４番１号
代表者	代表取締役社長　　仲 尾　功 一
問合せ先	代表取締役副社長　木 村　　睦
ＴＥＬ	（０７７）５４３－７２１２
ＵＲＬ	http://www.takara-bio.co.jp/
親会社等の名称	宝ホールディングス株式会社
代表者	代表取締役社長　　柿 本　敏 男 （コード番号 2531 東証、大証 1 部）

iPS細胞作製におけるレトロネクチン®の商用利用ライセンスを セルラーダイナミックス・インターナショナル社に供与

タカラバイオ株式会社は、米国セルラーダイナミックス・インターナショナル社（ウィスコンシン州、以下「CDI 社」）へ、当社が保有するレトロネクチン®の iPS 細胞作製における商用利用を許諾するためのライセンス契約を、本日 6 月 24 日付で締結しました。本契約により、CDI 社は、当社のレトロネクチン®を使用して作製した iPS 細胞の販売および、レトロネクチン®を用いた iPS 細胞の作製受託サービスを行うことが可能になりました。

レトロネクチン®は当社が開発した組換えタンパク質です。当社と米国インディアナ大学医学部が共同で開発したレトロネクチン®を用いる遺伝子導入法は、レトロウイルスベクターによる細胞への高効率遺伝子導入を可能にするため、遺伝子治療の臨床研究のスタンダードになっています。当社は、それに加えて、レトロネクチン®などの細胞接着分子を穿孔法による遺伝子導入後の細胞培養時に添加することにより、効率的に iPS 細胞などの遺伝子導入細胞を作成することができることを発見しました。当社は、米国において本技術に関する特許を取得しており、今回のライセンス契約においても CDI 社に本特許の使用を許諾しています。

CDI 社は、ヒト幹細胞研究分野で著名な米国ウィスコンシン大学の James Thomson 博士らによって設立された企業です。今後、レトロネクチン®を用いて、iPS 細胞由来の心筋細胞や神経細胞の製造販売、疾患特異的 iPS 細胞作製受託等のビジネスを展開していきます。

今回のライセンス契約締結により、当社は CDI 社より契約一時金を受領します。当社連結及び単体の平成 26 年 3 月期業績に与える影響は軽微ですが、当社は、当社の保有技術やノウハウの iPS 細胞分野への展開をさらに進めていきます。

当資料取り扱い上の注意点

当資料中の当社の現在の計画、見通し、戦略、確信などのうち、歴史的事実でないものは、将来の業績に関する見通しであり、これらは現時点において入手可能な情報から得られた当社経営陣の判断に基づくものですが、重大なリスクや不確実性を含んでいる情報から得られた多くの仮定および考えに基づきなされたものであります。実際の業績は、さまざまな要素によりこれら予測とは大きく異なる結果となり得ることをご承知おきください。実際の業績に影響を与える要素には、経済情勢、特に消費動向、為替レートの変動、法律・行政制度の変化、競合会社の価格・製品戦略による圧力、当社の既存製品および新製品の販売力の低下、生産中断、当社の知的所有権に対する侵害、急速な技術革新、重大な訴訟における不利な判決等がありますが、業績に影響を与える要素はこれらに限定されるものではありません。

＜参考資料＞

【CDI 社概要】

会　社　名：Cellular Dynamics International, Inc.
所　在　地：525 Science Drive, Madison, WI 53711
設　立　年：2004 年
代　表　者：Robert J. Palay, CEO
事 業 内 容：幹細胞関連技術の研究開発等

【語句説明】

iPS細胞

体細胞に、数種類の遺伝子を導入し誘導される分化多能性を獲得した細胞のことです。2006年に京都大学山中伸弥教授らのグループにより、この現象が発見され人工多能性幹細胞（induced Pluripotent Stem Cells：iPS細胞）と名付けられました。iPS細胞は、ES（Embryonic Stem）細胞とほぼ同等の分化多能性を示すことから、薬剤開発、種々の疾患の病態解明や再生医療への応用が期待されています。

レトロネクチン®

レトロネクチン®は、当社が開発したヒトフィブロネクチンと呼ばれる分子を改良した組換えタンパク質です。レトロネクチン®を用いたレトロウイルスベクターによる遺伝子導入法は、レトロネクチン法として知られており、レトロウイルスベクターによる遺伝子治療の臨床研究のスタンダードとなっています。さらに、当社はレトロネクチン®の新たな機能として、リンパ球の増殖を増強する効果を発見し、レトロネクチン®を用いたがん免疫細胞療法の臨床応用を進めています。

以上